

洋装化への染色技術の研究

化学部 ○仁科 勝海

大島紬の原料，産地技術を生かした洋装生地を開発するにあたり，摩耗，裾切れ等を防ぐためグラフト加工系の利用を検討しました。

増量率，強伸度，光沢度，植物染料による発色性，染色堅ろう度等について試験し，最も適したグラフト剤及び増量率の試料系について染色試験を行いました。

その結果，機能性や風合いを損なう事なく染色できる技術を確立しました。そこで，県内産未利用植物を用いて染色したグラフト加工糸で洋装生地を試織し，織物としての物性試験等を行い，洋装化への基礎資料を得ました。

また，この生地を用いて婦人用ジャケットを試作したところ，絹の持つ風合い，軽さ，暖かさを損なう事なく，裾切れしにくい製品が出来ました。



婦人用ジャケット

利用した染料

レモンガラス

染色方法

草木泥染色法

素材

絹糸（経，緯ともMAA50%加工糸）